

掲載文章タイトル：国立高度医療研究センター（ナショナルセンター）病院で血管造影剤による検査を受けた方へ

研究課題：造影剤腎症を有する症例のゲノム解析

研究期間：令和 2 年 2 月 15 日～令和 7 年 3 月 31 日（5 年間）

本研究課題では、国内に 6 つあるナショナルセンター（国立がん研究センター・国立循環器病研究センター・国立精神神経医療研究センター・国立国際医療研究センター・国立成育医療研究センター・国立長寿医療研究センター）において寄託された方々の貴重な生体試料を用いて解析を執り行います。本研究は、公的競争資金や中央バイオバンク運営費交付金の一部を用いて執り行われ、研究の主施設である国立国際医療研究センター倫理審査委員会の承認と、各ナショナルセンター（国立がん研究センター・国立循環器病研究センター・国立精神・神経医療研究センター・国立成育医療研究センター・国立長寿医療研究センター）の施設の長の許可をえて実施します。また利益相反の状況については、各ナショナルセンターの利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理しています。

- 1) 試料の利用目的：各バイオバンクに保管されている血液由来の DNA 試料を使い、造影剤腎症発症者と非発症でゲノム解析を行い、統計学的に比較検討します。一部の症例では、全ゲノム解析情報を取得し解析を更に深化させます。
- 2) 使用する情報と試料：DNA 試料に基づくゲノム解析情報、基本医療情報（年齢、身長、体重、性別、疾患名、診断、使用薬剤名、血清クレアチニン値）
- 3) 利用する者の範囲：6 つのナショナルセンター・バイオバンクに所属する研究者と NCBN 中央バイオバンクと NCGM ゲノム医科学プロジェクトに所属する研究者が解析を実施します。
- 4) 試料・情報の管理責任者：NCBN 中央バイオバンク バイオバンク長 /NCGM ゲノム医科学プロジェクト プロジェクト長 徳永勝士
- 5) 研究責任者：NCBN 中央バイオバンク/NCGM ゲノム医科学プロジェクト 上級研究員 大前陽輔

6) 利用停止のための申請とその窓口：バイオバンク登録者またはその代理人の求めに応じて、登録者が識別される試料や情報の利用または他の研究機関への提供を停止することができます。

（窓口） 研究に参加されている方を対象に、この研究の方法に関するお問い合わせに対して、個人情報や研究の独創性確保に支障のない範囲で、文書により回答させていただきますのでお申し出下さい。
本件に関する問い合わせがございましたら、中央バイオバンク事務局へ、どうぞ御連絡ください。

中央バイオバンク事務局（NCBN）：03-3202-7181（代表） 内線：2854